

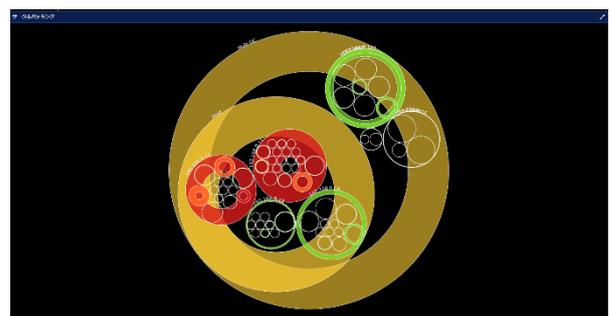
2022年11月1日
株式会社東陽テクニカ

仮想基盤、クラウド環境の可視化・解析ソリューションソフトウェア Uila 社「uObserve」が「VMware Explore 2022」で特別賞を受賞 11月開催の「VMware Explore 2022 Japan」にも出展

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、東陽テクニカが国内で提供している、Uila 社の仮想環境下の問題切り分けを行うための解析ソリューションソフトウェア「uObserve」が、「VMware Explore 2022」※1 出展製品の中でマルチクラウド&アプリのモダナイゼーション部門において特別賞を受賞したことをお知らせいたします。当部門は、オンプレミスの仮想インフラストラクチャの構築や複数のクラウド環境のサポート、レガシーアプリケーションをクラウドネイティブなフレームワークで実行するためのアップデートなどにおける革新的な製品の中から、拡張性や安全性、継続的な運用を支援するインフラ構築や管理の観点で表彰しています。Uila 社の「uObserve」は、この部門において、イノベーション、パフォーマンス、システムへの統合のしやすさ、利便性と管理性、機能性、市場価値に基づいて選出され、特別賞を受賞しました。

このたび、東陽テクニカは、国内で11月15日(火)から開催の「VMware Explore 2022 Japan」に出展します。今回はハイブリッド(会場+オンライン)開催で、11月15日(火)は3年ぶりに会場展示ブースにて出展、16日(水)はオンラインセミナーで「マルチクラウドの統合的な可観測性(Observability)の実現」と題し「uObserve」の製品コンセプトを中心に講演いたします。

※1 VMware 社主催のマルチクラウドに関するあらゆるトピックを網羅した、業界随一のイベント。2022年8月29日～9月1日の期間、米国サンフランシスコで開催。



Uila 社「uObserve」ダッシュボード(図：左)とCPU解析イメージ(図：右)

< 受賞に際し Uila 社(Uila,Inc.)CEO 兼共同創設者 Chia-chee Kuan 氏からのコメント >

「VMware Explore 2022 においてマルチクラウド&アプリのモダナイゼーション部門で特別賞に選ばれたことを光栄に思います。ここ数年、業界、特に技術コミュニティからの Uila 社製品に対する継続的な反響は驚くべきもので、マルチクラウド分野におけるアプリケーションの障害を解決するためにフルスタックなオブザーバビリティ(可観測性)が極めて重要であることを確信しています。」

【「VMware Explore 2022 Japan」開催概要】

- ・日 程：11月15日(火)／会場(ザ・プリンスパークタワー東京)&オンライン
11月16日(水)／オンラインのみ
- ・参加費：無料 ※事前登録制
- ・講演名：「マルチクラウドの統合的な可観測性(Observability)の実現」
11月16日(水)16:00～16:40(セッション ID:CM22423)
- ・出展内容詳細サイト：<https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/VMworld-2022-Japan.html>

【Uila 社「uObeserve」主な特長】

- アプリケーションパフォーマンス、仮想基盤インフラパフォーマンス、物理／仮想ネットワーク、ストレージのモニタリングを一つのツールで提供
- 独自のパケット解析を行ったネットワークに関する情報と、CPU、メモリ、ストレージのリソース情報を相関させて解析
- データ可視化手法により、システム全体の状態の素早い把握を強力に支援
- VMware vSphere 環境およびその他のオンプレミス仮想化基盤、AWS、Azure、GCP などのパブリッククラウド上のインスタンス、物理サーバにまたがった環境を一元的に監視
- VMware vSphere などのオンプレミス仮想化テクノロジーにエージェントレスで対応、監視対象 VM へのエージェントのインストールが不要
- 1、2 時間程度でインストールでき、インストール後は細かな設定をしなくてもすぐにデータの解析、閲覧が可能

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 マーケティング課
TEL：03-3279-0771(代表)／E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp
Uila 製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。